

# 広報 水田つ子

水田校区コミュニティ協議会 〒833-0034 福岡県筑後市下北島 150-1 水田コミュニティセンター内

TEL/FAX : 0942-27-7186

✉ : mizutakouku@kfy.biglobe.ne.jp



笑顔あふれる住みよいまちづくり

2020/2月号 Vol.94 2020/2/1発行

## 水田校区歳末一斉夜間パトロール

安全安心部会 顧問 下川博生

令和元年12月21日(土)午後7時30分開始。安全安心部会の年間行事「夜間パトロール」実施にあたり、各行政区より多くの役員の方々と消防団員様のご参加をいただきました。水田コミュニティ協議会会長の挨拶で始まり、水田駐在所様から水田校区管内の事件・事故についてのお話しをしてもらいました。当日は午後より、

空模様を懸念いたしておりましたが大した雨にもならず、また寒い中に皆様のご協力により実施できました事を、心よりお礼申し上げます。今後とも地域の皆様の安全安心に努めていきたいと思っております。



## 左義長風景(令和2年1月13日:水田小学校グラウンドにて実施)



燃え上がる左義長!!

左義長(さぎちょう、三稜杖)とは、小正月(1月15日)に行われる火祭りの行事。地方によって呼び方が異なる(どんど焼き等)日本全国で広く見られる習俗である。**がんばれ、もぐら打ち**



## 水田天満宮の史跡を訪ねて 宮司 宮原 恭盛

水田天満宮の楼門を潜ると左側に手水舎があります。この手水舎は大正15年8月吉日寄進、瀧上為吉・本田榮・吉田次吉の刻銘があり、大正15年(1926年)12月25日に47歳で崩御された大正天皇と同年代です。その後、践祚で昭和天皇が即位され昭和元年と改元されました。昨年の平成と令和の改元と同じですが、上皇・上皇后の御即位が異なります。屋根は唐破風で銅板葺き、当時の大正天皇の病氣平癒祈願をお察し致します。また手水舎石は千七十五年大祭(昭和52年・1977年)の記念行事で、古賀辰夫様他7名の建設業者寄進で伊勢神宮が鎮座する三重県から運ばれたご利益の石です。

手水舎の左側には鐘楼があります。通常は太鼓堂と言っていますが、二階の四方窓は神仏混合時代の名残で火灯窓(花頭窓)と言い、普通は天井から鐘が吊ってあります。

当天満宮は奉寄進・安政7年(1860年)春弥生・久留米通町、瀧上太作銘の大太鼓が下げられています。鐘と太鼓は神社でも寺院でも大切な祭具です。日本の神様は賑やか処が大好きです。

